

科目名	電子制御ゼミナール Seminar	科目コード	31330
-----	----------------------	-------	-------

学科名・学年	電子制御工学科・4年（プログラム1年）
担当教員	全教員（電子制御工学科）
区分・単位数	履修単位科目・必修・1単位
開講時期・時間数	後期, 30時間【内訳：講義0, 演習0, 実験0, その他30】
教科書	各研究室で指示する
補助教材	各研究室で指示する
参考書	各研究室で指示する

【A. 科目の概要と関連性】

学科内のいずれかの研究室に所属し、5年次の卒業研究に向けた準備をする。所属の担当教員の助言を受けつつ、研究テーマの検討、必要な知識を補うための学習を行う。

○関連する科目：科学技術英語Ⅰ（後期履修）、科学技術英語Ⅱ（次年度履修）、卒業研究（次年度履修）

【B. 「科目の到達目標」と「学習・教育到達目標」との対応】

この科目は長岡高専の教育目標の (D), (G) と主体的に関わる。

この科目の到達目標と、成績評価上の重み付け、各到達目標と長岡高専の学習・教育到達目標との関連を以下の表に示す。

科目の到達目標	評価の重み	学習・教育到達目標との関連
年次までに学んだことを卒業研究に充分活かせるように、知識の見直しや裏付けを行い、研究に際して有用な様々な手段を身につける	100%	(d3), (d4), (g2)

【C. 履修上の注意】

各研究室の担当教員の説明をよく聞き、理解することが大切である。また配属先の研究室で行われている研究について、5年生の研究に対する取り組み方などもよく学ぶ必要がある。

後期の限られた時間であるが、積極的に取り組むことにより効果を上げるべく努力してもらいたい。

【D. 評価方法】

次に示す項目・割合で達成目標に対する理解の程度を評価する。60点以上を合格とする。

- 定期試験（0%）
- その他の試験（0%）
- レポート（60%）
- その他（40%）【日頃の研究の取り組み状況】

【E. 授業計画・内容】

月	内容	備考
10	研究計画の立案, 調査, ゼミナール	
11	資料収集, 実験, 調査, ゼミナール	
12	資料収集, 実験, 調査, ゼミナール	
1	実験, 調査, ゼミナール	
2	研究のまとめ, 報告書作成・提出	

学生は、学科の研究室の1つに所属し、研究に関する準備として必要な知識を得るための学習と調査を行う。また、5年生による卒業研究中間報告会(10月下旬)と卒業研究発表会(2月初旬)を聴講する。